

3/5/1 (Item 1 from file: '347) *
DIALOG(R) File 347:JAPIO
(c) 2000 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

03325413 **Image available**
SYSTEM FOR TEACHING OPERATION PROCEDURE OF SOFTWARE

PUB. NO.: 02-300913 JP 2300913 A]
PUBLISHED: December 13, 1990 (19901213)
INVENTOR(s): IKEMOTO HIROYUKI
APPLICANT(s): TOSHIBA CORP [000307] (A Japanese Company or Corporation), JP
(Japan)
APPL. NO.: 01-121875 [JP 89121875]
FILED: May 16, 1989 (19890516)
INTL CLASS: [5] G06F-003/02; G06F-015/00
JAPIO CLASS: 45.3 (INFORMATION PROCESSING -- Input Output Units); 45.4
(INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications)
JOURNAL: Section: P, Section No. 1172, Vol. 15, No. 84, Pg. 89,
February 27, 1991 (19910227)

ABSTRACT

PURPOSE: To easily use a software program, especially a multifunction software program by indicating or guiding an input operating method for an input operation.

CONSTITUTION: A decision part 2 compares information on the operation of a user and operation procedure, which is transmitted from an input part 2, with the operation for the user to whom the software program which is previously stored in a storage part 1 can be supplied and operation procedure. When they do not coincide, the processing and operation procedure including the most input operation and the operation procedure of the user among the operation and operation procedure stored in the storage part 1 are transmitted to a teaching content generation part 4a. It generates teaching data of operation procedure teaching for the user, and transmits it to a display part 4b. Thus, the user can easily use the software program, especially the multifunction software program because he does not need to previously know the operation method of the software program.

⑫ 公開特許公報(A) 平2-300913

⑤ Int. Cl.

G 06 F 3/02
15/00

識別記号

3 7 0 Z
3 1 0 S

庁内整理番号

7530-5B
7361-5B

⑬ 公開 平成2年(1990)12月13日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 ソフトウェアプログラム操作手順教示方式

⑮ 特 願 平1-121875

⑯ 出 願 平1(1989)5月16日

⑰ 発 明 者 池 本 浩 幸 神奈川県川崎市幸区柳町70番地 株式会社東芝柳町工場内

⑱ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

⑲ 代 理 人 弁 理 士 須 山 佐 一

明 細 書

1. 発明の名称

ソフトウェアプログラム操作手順教示方式

2. 特許請求の範囲

ソフトウェアプログラムを実行するための操作
手順情報を入力する入力手段と、前記ソフトウェアプログラムが提供可能な操作
手順情報および処理内容を格納した記憶手段と、前記入力手段に入力された操作手順情報と前記
記憶手段に格納された前記ソフトウェアプログラ
ムが提供可能な操作手順情報および処理内容とを
比較し、両操作手順情報の相違点を判定する判定
手段と、前記判定手段の判定結果に基づいて、前記記憶
手段に格納された操作手順情報の中から前記入力
された操作手順情報に最も近似した操作手順情報
を選択して教示する教示手段とを有することを特
徴とするソフトウェアプログラム操作手順教示方
式。

3. 発明の詳細な説明

〔発明の目的〕

(産業上の利用分野)

本発明は、ハードウェアまたはマイクロプロ
グラムを含むファームウェアの形態で開発される
ソフトウェアプログラム操作手順教示方式に関す
る。

(従来技術)

従来より、種々の分野におけるソフトウェア
に対話型のソフトウェアプログラムが普及してい
るが、このような対話型のソフトウェアプログラ
ムでは、プログラムが提供可能なサービスに対し
て利用者が入力する操作方法が予め決められてお
り、利用者からの入力操作に従って、その入力し
た操作結果と対応するサービスを行なうようにプ
ログラミングされている。従って、利用者はプロ
グラムの利用に際しては、予めプログラムが提供
可能なサービスとそのサービスを受けるために必
要な操作方法を知っておく必要があった。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、多機能なソフトウェアプログ

ラムを利用する場合には、その多大なサービスに比例して入力操作方法が多数にわたるため、利用者はこれら多数の入力操作方法を記憶しなければならず、容易に操作を行うことが困難になるという問題があった。

本発明は、このような事情に対処してなされたもので、利用者の入力操作に対して入力操作方法を提示あるいは誘導することで、利用者がより容易にソフトウェアプログラム特に多機能なソフトウェアプログラムでも容易に利用することができるソフトウェアプログラム操作手順教示方式を提供することを目的とするものである。

〔発明の構成〕

（課題を解決するための手段）

本発明のソフトウェアプログラム操作手順教示方式は、ソフトウェアプログラムを実行するための操作手順情報を入力する入力手段と、前記ソフトウェアプログラムが提供可能な操作手順情報および処理内容を格納した記憶手段と、前記入力手段に入力された操作手順情報と前記記憶手段に

しながら説明する。

第1図は、本発明の一実施例に係わるソフトウェアプログラム操作手順教示方式の構成を示すブロック図である。

本実施例のソフトウェアプログラム操作手順教示方式の構成は、ソフトウェアプログラムが利用者に提供可能な処理（サービス）内容、この処理に対応する操作項目、操作の手順を格納した記憶部1と、ソフトウェアプログラムを利用する利用者の操作情報を入力する入力部2と、この利用者の操作情報と上記記憶部1に格納されたソフトウェアプログラムの処理内容を比較して利用者の操作情報と記憶部1に格納された操作手順とを対応づける判定部3と、この判定部3の判定結果に基づいて利用者に操作手順を教示する教示部4とから構成されている。

また、上述した教示部4は、さらに判定部3の判定結果に基づいて教示内容を生成する教示内容生成部4a、この教示内容生成部4aで生成された教示内容を表示する表示部4bとから構成され

格納された前記ソフトウェアプログラムが提供可能な操作手順情報および処理内容とを比較し、両操作手順情報の相違点を判定する判定手段と、前記判定手段の判定結果に基づいて、前記記憶手段に格納された操作手順情報の中から前記入力された操作手順情報に最も近似した操作手順情報を選択して教示する教示手段とを有することを特徴とするものである。

（作用）

本発明のソフトウェアプログラム操作手順教示方式では、入力手段が利用者からの入力操作を入力し、判定手段が記憶手段に格納されているソフトウェアプログラムが提供可能な利用者へのサービスと前記入力操作とを比較し、対応づけ、教示手段が前記対応結果に基づき利用者に操作手順を教示するので、利用者はより容易にソフトウェアプログラムを利用することが可能となる。

（実施例）

以下、本発明をグラフィックエディタの操作プログラムに適用した一実施例について図を参照

している。

このような構成のソフトウェアプログラム操作手順教示方式の動作を以下に説明する。

記憶部1には、ソフトウェアプログラムが利用者に提供可能な処理内容、処理に対応する操作項目、操作の手順が第2図に示すようにテーブル形式で格納されている。

本実施例ではソフトウェアプログラムがグラフィックエディタであるので、同図に示すテーブルには、グラフィックエディタのプログラムが提供可能な処理内容がAの欄に、また処理内容Aの各欄に各処理内容を実行するための操作項目およびその操作手順が、最初に行なう操作B→2番目に行なう操作C→3番目に行なう操作D……の順で格納されている。

利用者が利用者の操作および操作手順等の入力操作の情報を入力部2に入力すると、この入力された利用者の操作および操作手順は判定部3に送出される。判定部3では、入力部2より送出された利用者の操作および操作手順の情報と、予め記

憶部1に格納されたソフトウェアプログラムが提供可能な利用者への操作および操作手順とを比較する。

そして、判定部3に入力された利用者の操作手順が記憶部1に格納された操作手順のどれにも一致しない場合には、利用者に操作手順を教示する場合と判定し、記憶部1に格納された操作および操作手順のうち、利用者の入力操作および操作手順を最も多く含む処理および操作手順を教示内容生成部4aに送出する。

教示内容生成部4aでは、判定部3より送出されたソフトウェアプログラムの処理および操作手順から、利用者に教示する操作手順の教示データを生成し、表示部4bに送出する。

さらに、表示部4bでは、第3図に示すように教示内容生成部4aから送出された教示データを表示し、利用者に処理とその処理の操作手順を教示する。

このように上述した実施例では、利用者はソフトウェアプログラムの操作方法を予め知っておく

必要がないので、容易にソフトウェアプログラムを利用することができる。

【発明の効果】

以上説明したように本発明のソフトウェアプログラム操作手順教示方式によれば、ソフトウェアプログラムの利用者はソフトウェアプログラムの利用に際し予めそのサービスとサービスに対応する操作方法を完全に記憶してから入力操作を行う必要がなくなり、利用者は容易にソフトウェアプログラム特に多機能なソフトウェアプログラムでも利用することが可能となる。

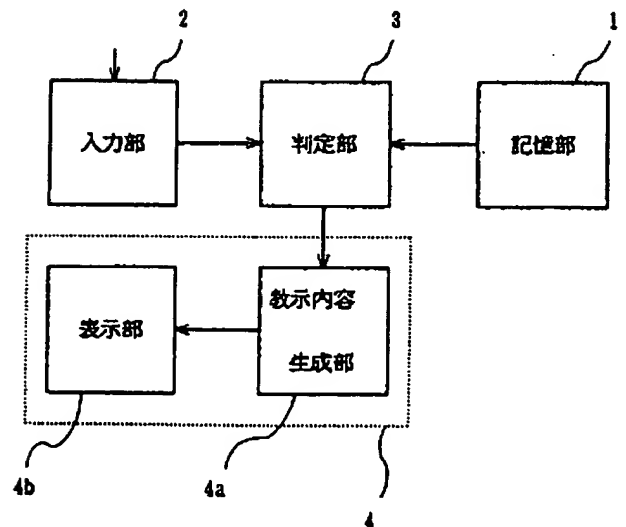
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例に係わるソフトウェアプログラム操作手順教示方式の構成を示すブロック図、第2図は実施例における記憶部のテーブルを示す図、第3図はこの実施例における表示部の表示内容の一例を説明する図である。

- 1 …… 記憶部
- 2 …… 入力部
- 3 …… 判定部

4 …… 教示部

出願人 株式会社 東芝
代理人 弁理士 須山 佐一



第 1 図

| 処理内容 | 操作項目および操作手順 | | |
|------|-------------|--------|---------|
| | 1 | 2 | 3 |
| 図形処理 | 配置コマンド選択 | 基本図形選択 | 未配置位置入力 |
| 図形削除 | 削除コマンド選択 | 配置図形選択 | 配置位置入力 |
| 図形移動 | 移動コマンド選択 | 配置図形選択 | 未配置位置入力 |
| 図形置換 | 置換コマンド選択 | 配置図形選択 | 基本図形選択 |
| A | B | C | D |

第 2 図

図形配置を行うためには、

- ①配置コマンドを選択します。
- ②配置したい基本図形を選択します。
- ③基本図形を配置する位置を入力します。

第 3 図